広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話 ㊀0091番

大きくふくらむ 子どもの夢

風薫る五月、年間で最も快適なシーズンがやってきました。

野山は新緑一色。

色とりどりのつつじが咲きほころび、春の陽光に美しく映える。

さつき晴れの空には、こいのぼりが腹を大きくふくらまし、勢いよく泳いでいる。

五月五日は「こどもの日」男子の節句です。

こちら伊方保育所では、園児たちが手づくりのこいのぼりを手に手に持っておおはしゃぎ！

「うまくできたろう」

「わたしのどう！」の声が、つぎつぎに飛んでくる。

こうした子どもたちの姿は、じつに天真らんまんです。

そして子どもたちの夢は、大空のこいのぼりのようにはてもなく大きくふくらむ。

次代を担う〝伊方っ子〟元気にすくすくと育ってほしい。

◇ ◇ ◇

四月に新しく入所した子どもたちも、すっかりみんなと仲良しになりました。お母さん方もひと安心でしょう。

でも交通事故には、くれぐれも気をつけてください。

できた ぼくらのこいのぼり

先生に教えてもらい、みんなといっしょにつくったこいのぼり。うれしいなー。 泳げ〝タイ焼君〟のように!!

第84回定例議会報告

伊方町議会第八十四回定例会は三月十二日招集され会期十六日間（三月十二日～二十七日まで）で開かれ十三億七千四百十万円におよぶ昭和五十一年度一般会計当初予算、印鑑登録証明事務条例の制定、伊方原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定の締結などの三十六議案が提出され全議案可決されました。

審議された主な議案内容はつぎのとおりです。

◇ ◇ ◇

◎非常勤職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定

教育委員会委員長八、八〇〇円
〃 委員七、七〇〇円
〃（議会選出）八〇、〇〇〇円
〃（学識経験者）一〇〇、〇〇〇円
選挙管理委員会委員長 一五、〇〇〇円
〃 委員 一三、〇〇〇円
〃 補充員 二、〇〇〇円
国民健康保険運営協議会会長 一〇、〇〇〇円
〃 委員 九、〇〇〇円
農業委員会委員三四、〇〇〇円
交通指導員 三〇、〇〇〇円
消防団団長 四六、〇〇〇円
〃 副団長 三五、〇〇〇円
〃 本部員 二八、〇〇〇円
〃 分団長 二一、〇〇〇円
〃 副分団長 一四、〇〇〇円
〃 班長 九、〇〇〇円
〃 消防車運転手一六、〇〇〇円
〃 班員 九、〇〇〇円
〃 団員 七、〇〇〇円
（年額）

助産費アップなど審議

三十六議案を可決

◎国民健康保険条例の一部改正

被保険者が出産した場合、いままで助産費二万円を支給していましたが倍額の四万円にアップしました。また育児手当を二百円（一カ月）六カ月分支給していましたが、これも四百円に増額となりました。

助産費を四万円にアップ支給

◎印鑑登録証明事務条例の制定

印鑑登録や証明事務を正確、迅速に処理するため制定されました。内容については先月号広報紙でくわしく紹介しています。

◎国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

被保険者均等割額を被保険者一人につき三千九百円から四千八百円に、世帯別平等割額を一世帯につき五千八百五十円から七千五十円にそれぞれ引き上げられました。

し尿のくみ取り料 18トン当り五十円に

◎廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定

し尿のくみ取り料が十八リットル（一斗）当り四十円から五十円に改められました。

但し、ホースが四十メートル以上の場合は十八リットル当り十円増の六十円となります。

◎へき地保育所設置条例の一部改正

へき地保育所の保育料を児童一人当り一カ月千五百円から千七百円に引き上げました。

◎水道事業給水条例の一部を改正する条例制定

水道事業会計の累積赤字が七百六万円あり、苦しい経営の立場上今回やむえず使用料をアップ改正したものです。

くわしいことについては、水道課から各家庭へチラシを配付していますのでご理解いただきご協力をお願い致します。

◎町道の認定について

中之浜宮ノ谷線（延長八十二メートル）、豊之浦奥線（延長九十八メートル）の二線が今回町道に認定されました。

◎昭和五十一年度一般会計予算

十三億七千四百十万円（五十年度は八億四千八百十五万円）の予算でスタートがきられました

内容については、二、三面に紹介していますので二読を！

◎昭和五十一年度国民健康保険特別会計予算

予算額三億一千七百三十万円で昨年より六千七百四万円多くなっています。

◎昭和五十一年度水道事業会計予算

予算額三千三百五万円

◎昭和五十一年度学校給食特別会計予算

予算額三千九百十二万円

◎昭和五十一年度墓地特別会計予算

予算額三百十六万円

◎昭和五十一年度港湾整備事業特別会計予算

予算額百七十六万円

◎昭和五十年度一般会計補正予算

三千五百二十二万円が最終的に補正され総額十七億百三十四万円になりました。

◎昭和五十年度国民健康保険特別会計補正予算

一千八百五十六万円補正され二億七十二百六十五万円になりました。

◎昭和五十年度学校特別会計補正予算

二百九十九万円が計上され総額三千三百六十三万円になりました。

◎伊方原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定締結について

九町越に建設されている伊方原子力発電所が明年四月営業運転をめざして着々と工事が進んでいますが、これに伴なう伊方町、愛媛県、四国電力株式会社の三者が結ぶ安定協定（案）について議員協議会等を開くなど慎重審議を行い可決されました

この安全協定については先月号で大きく紹介していますのでご一読いただき理解してほしいと思います。

湊浦二小集落住宅が落成

呼び名は「大川荘」

湊浦二小集落地区改良事業の住宅新築工事が完成しました。

総事業費一億二千八百五万円（用地取得及び造成費含む）の巨費を投入して建築されたもので、ホワイト（白）とレンガ色がうまくマッチした鉄筋コンクリート三階建の豪華な建物になりました。

この住宅は、環境整備事業として各階六戸、計十八戸が入居できます。

一戸当りの部屋の広さは五十九・一九平方メートル（約十八坪）で和室の四・五帖が一室、六帖二室、台所、浴室、洗面所、水洗トイレからなっているほか、建物前面には各戸の物置やプロパン庫が設けられています。

また、子どもたちの遊び場（すべり台、ブランコ、椅子ブランコ、ベンチ、砂場）を設置したほか、むくげ、八重桜、ポプラ、アカシヤなどの植樹も行ない、環境整備も併せて実施しています。

この建物の名前をいろいろと検討した結果、「大川荘」と決定しました。

ちょうど住宅の横を本町で最も大きい伊方大川が流れているのにちなみ、名づけられたものです。

建設地は湊浦二遊園地西側です。

この場所は水田を埋立て土地造成したため、地盤が軟弱な関係上、長さ六～十二メートルの強高度なコンクリートパイルを六十九本（延長にして一千五十五メートル）打ち込み強固な基礎にしています。

この「大川荘」の完成を祝う落成式が四月十六日中央公民館で町長、町議会議員、その他関係者多数が出席して行われました。

入居は四月下旬からはじまりました。料金は一カ月二千円です。

春の陽光を受け、立派に完成した「大川荘」（18戸が入居）

安らぎを求めて

（電源交付金事業1億5,670万円）全会計17億6,850万円

ことしは こんな 仕事をします

昭和五十一年度町の台所予算がスタートしました。これをみてみますと一般会計予算で十三億七千四百十万円、国民健康保険特別会計予算三億一千七百三十万円、水道事業会計三千三百五万円、学校給食会計三千九百十二万円、墓地特別会計三百十六万円、港湾整備会計百七十六万円。

一般会計と五つの特別会計をあわせますと、総額約十七億七千万円の予算が誕生しました。

一昨年来の総需要抑制策により、国の経済は依然低迷を続けておりますが、町においてもきわめて厳しい財政状況です。こうした中で経費支出の効率化に徹することと、積極性を保持することに努力し、国と同一基調により本年度予算を編成しました。

しかし、一般会計の中には原子力発電所による電源交付金事業で一億五千余万円の予算を同時に計上しており、他町に類例がないデツカイ町づくり予算が含まれています。こんごは、健全財政を堅持するかたわら、信頼のあるコミニュケーションづくりにはげみ、協調の施策で物から心のふれあいを大切にし、町民の安らぎを求めて、谷間のない明るい町づくりのため、それぞれの仕事がなされます。

つぎにことしの一般会計予算のあらましを紹介しましょう。使われるお金（歳出）のカット下欄の◎は本年度予算額　○は前年度予算額

各会計予算をみる

会計別／年度別	一般会計	国保会計	水道会計	学校給食会計	墓地会計	港湾整備会計	合計
昭和51年度	13億7,410万円	3億1,730万円	2,305万円	3,912万円	316万円	176万円	17億6,849万円
〃 50年度	8億4,815	2億5,026	2,411	3,265	977	62	11億6,556
増減	5億2,595	6,704	894	647	△661	114	6億0,293

古屋敷畑地帯総合整備事業 6,085万円（農道を約 500メートル新設するほか水路工事を72メートル整備します）

農道開設費に 300万円。（農道開設のためのブルー施工やコンクリート舗装の補助金です）国土調査費が3,553万円でこのうち測量委託料が 1,950万円が主なものです。本年は川永田、川永田二、豊之浦地区が事業推進されます。松くい虫防除対策として町内 500ヘクタールを対象にヘリーによる空中散布防除する費用に 1,814万円計上しています。

水産部門では伊予灘漁場改良事業540万円。

田之浦漁港局部改良事業 1,410万円（継続事業で本年長さ30メートル、幅5メートルの防波堤が完成します）

田之浦漁港物揚場新設工事 1,560万円（長さ30メートル、幅10メートルの物揚場を新設します）

九町漁港荷揚場突堤新設工事1,640万円(長さ20メートル、幅5メートルの荷揚突堤をつくります）

伊方漁港海岸保全事業（中浦） 1,034万円（この事業も継続事業で延長17メートル整備します）

九町漁港海岸保全事業 890万円（延長20メートル整備し消波工として中空三角ブロック5トン型を設置します）

鳥津漁港護岸新設工事 750万円（中空三角ブロック2トン型を消波工として長さ25メートルにわたり設置します）

大成漁港護岸新設工事 1,000万円（港内に長さ25メートル新設するものです）

商工費

◎285万円(0.2%)
○266万円

商工会補助金 130万円
杜氏組合補助金30万円
たばこ組合補助金5万円

町の中小企業振興融資の信用保証協会への預託金に 100万円。

土木費

◎2億5,787万円 (18.8%)
○4,235万円

使われるお金の第2位にあたる2億5,787万円が計上されています。

町道湊浦伊方越線道路改良工事 2,450万円（現在の 3.5メートル幅の道路を 300メートルにわたり5メートルに拡幅する費用です）

生活圏道路舗装新設工事 100万円。

町道九町二見線道路新設工事費 2,660万円（幅員4メートル道路を 213メートル新設します）

中浦茅の峠道路改良工事 2,320万円（幅員2メートルから4メートルにするため 384メートル改良します）

川永田神社線舗装70万円（150メートルコンクリート舗装します）

川永田浜線舗装24万円（32メートルアスファルト舗装します）

鳥津臨港線舗装75万円（25メートル舗装する費用です）

伊方港海岸対策事業1億4,600万円投入します。その主なものは

小中浦護岸工事 1,165万円（長さ20メートル整備します）

大浜護岸工事（消波工） 1,400万円（六脚ブロック〔1個4トン〕4段積とし71メートル設置するものです）

仁田之浜護岸補強工事 3,700万円（六脚ブロック〔1個2トン〕5段積で補強します）

仁田之浜物揚場築造工事 1,030万円。

大浜物揚場築造工事2,174万円(長さ50メートル、幅20メートルの物揚場を新設します）

大浜浚渫工事 140万円（大浜港内の土砂を水深2メートルまで取りのぞきます）

小中浦荷揚突堤新設工事 1,400万円（長さ10メートル、幅5メートルの突堤を新設）

湊浦荷揚場新設工事 1,850万円（伊方町農協前と撰果場前をつないで延長20メートルの荷揚場を新設します）

仁田之浜舟揚場新設60万円。

小中浦地質調査費90万円。

河内公園に水道施設を布設する費用も計上されています。

消防費

◎1,246万円 (0.9%)
○771万円

団員報酬、出動手当の引き上げがなされ予算額 403万円を計上しています。

団員等災害補償退職報償金組合負担金 185万円。

消火栓修理費負担金85万円。団員等福祉共済制度負担金39万円。

小型動力ポンプ積載車購入費 330万円（昭和50年度に7台積載車を導入しましたが、本年は3台購入する計画です。第9分団（豊之浦）第15分団（九町西）　第16分団（二見）に配置される予定です）

文化教育の町づくり

教育費

◎1億0,088万円 (7.3%)
○8,890万円

町内小中学校のグランド整備に112万円。

教材調整費107万円

6つの小学校に要する管理費に 1,771万円（前年にくらべ54万円増）

小学校振興費729万円

小学校建設費 343万円（伊方小学校危険校舎の設計委託料と地質調査費が計上されています）

2つの中学校に要する管理費 837万円。

中学振興費 881万円（少年自然の家研修費や選手派遣費が含まれています）

社会教育費 970万円（前年より82万円増）

家庭教育学級、子ども会少年団指導者養成講習会、成人式などの費用のほか、青年団、婦人会、PTA等の助成金を計上しています

中央公民館費 459万円。

青年学級、婦人学級、高齢者学級、中年婦人学級、成人学級、地区公民館学級の各種学級の開催費用や公民館結婚式、展示会、公民館研究大会、婦人指導者研修会費などです。

このほか公民館主事手当を5,000円から10,000円に引き上げました。

また図書館を充実さすため図書購入費 100万円を計上しています。

町見公民館費72万円。

公民館建設費 175万円（町見公民館建築設計委託料を計上しています）

保健体育費 228万円。

町民運動会、町スポーツ少年団大会、県民体育祭参加費、体協助成金、県スポーツ振興団負担金、夜間照明施設電気代が主なものです

体育指導員手当を5,000円から10,000円にアップしました。

学校給食センター費 1,688万円。

調理員及び運転手の賃金に 662万円。保温食缶、自動食品切断機、洗たく機の購入費に 136万円。

災害復旧費

◎1,400万円 (1.0%)
○1,524万円

伊方越農道災害復旧67万円。川永田大久保線（3カ所）災害復旧303万円。

九町茅越農道災害復旧 107万円。九町長崎農道災害復旧42万円。湊浦伊方越線（2カ所）災害復旧76万円。

川永田東線災害復旧94万円。川永田向山峯線 155万円　河内下中之浜大成線災害復旧139万円　川永田豊之浦線災害復旧 57万円　湊浦河内線災害復旧73万円　加周古屋敷線災害復旧73万円　豊之浦長崎線災害復旧 137万円

公債費

◎1億4,331万円 (10.4%)
○1億1,193万円

この公債費は、町づくりのため町が国などから長期にわたって借りたお金をかえす費用です。

償還元金 7,444万円
〃 利子 6,887万円

予備費

◎1,600万円 (1.2%)
○3,300万円

本来の予備費 100万円のほかに職員の給与改訂財源確保のために 1,500万円が計上されています

人事異動

四月一日付で役場の人事異動が発令されました。

今回は一部退職があり、これに伴う異動で小幅なものです。

（　）内は旧任

住民課保険係長　藤堂百男（水道課庶務係長）
企画財政課企画係長　菊池和彦（住民課保険係長）
住民課国民年金係長　末光友幸（税務課賦課係長）
税務課兵頭千尋（国土調査課）
町見支所　菊池博史（住民課）
国土調査課松下義和（税務課）
産業課　上田充宏（会計室）
会計室　梶谷八重（建設課）
農委会事務局　大沼正一（産業課）
加周保育所主任保母　亀井睦子（豊之浦保育所主任保母）
豊之浦保育所主任保母　畑山千沙子（加周保育所主任保母）
伊方保育所　大通香代子（川永田保育所）
川永田保育所　朝井登奈（豊之浦保育所）
伊方保育所　高月実奈子（九町保育所）
〃　掘口佐栄美（川永田保育所）
〃　水口富子（豊之浦保育所）
大浜保育所田中京子（伊方〃）
伊方保育所尾崎孝子（大浜〃）
〃　木戸シゲル（九町〃）
豊之浦保育所高田京子（新採）
九町保育所　坪内康子（新採）

退職

藤井和子（国民年金係長）
広野夏子（町見支所主任）
佐伯ヨシエ（伊方保育所）
門田　光（伊方保育所）
手塚久子（九町保育所）
和田むらえ（伊方小学校）

国民年金受給者のみなさん 現況届を出しましょう

国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の受給者は、毎年五月三十一日までに「国民年金受給者現況届」を役場に提出することになっています。

この現況届は、年金の受給者が引続き年金を受ける権利があるかどうかを確認する大切なものです

この現況届には、生存の事実について、市町村長の証明、または戸籍の抄本を添えるほか、県知事より指示された人は、障害の程度について確認するため「国民年金診断書」を添えることになっています。なお、昨年六月一日以降に年金を受けはじめた人、年金額が改定された人、今まで支給停止されていたのが支給されるようになった人については、今年は提出する必要はありません。

現況届を五月三十一日までに提出しないと、今年の九月分から年金の支払いが止められます。

老齢年金の請求をお忘れなく

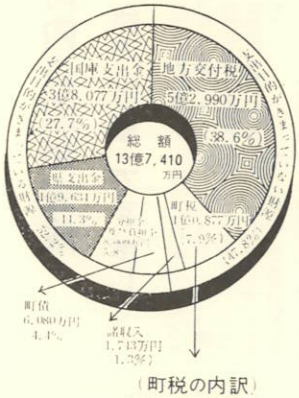
明治四十四年四月二日以降に生れた人で、老齢年金の受給資格期間を満たしており、請求を六十五歳まで待たれた人は、今年の五月以降、六十五歳になった月の翌月から一〇〇%の年金が支給されます。請求の手続きを役場でしてください。

老齢（通算老齢）年金は、六十歳から希望すれば、一定の率で減額した年金が受けられますが、本来は六十五歳になって請求してはじめて一〇〇%の年金が支給されます。くわしいことは役場国民年金係へお問い合わせください。

町民の

一般会計 13億7,410万円にきまる

入ってくるお金の構成



＝歳　入＝

町税は全体の8％

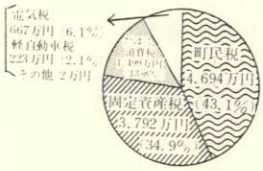
入ってくるお金を円グラフを見ながら簡単にみてみますと、町民のみなさんが納める町税は約8％の1億0,877万円です。

その内訳は町民税 4,694万円（43.1％）
固定資産税 3,792万円（34.9％）
たばこ消費税 1,499万円（13.8％）
電気税 667万円（6.1％）
軽自動車税 223万円（2.1％）
その他2万円となっています。

入ってくるお金の横綱は地方交付税（38.6％）で、5億2,990万円計上しています。ついで国庫支出金3億8,077万円（27.7％）、県支出金1億9,634万円（14.3％）の順になっています。

また全体で支出目的がきまっている財源は52％、きまっていない財源は48％になっています。

（町税の内訳）



福祉の町づくり

民生費

◎2億2,292万円（16.2％）
○1億9,824万円

当初予算の中で使われるお金の第3位はこの民生費です。

おもなものをピックアップしてみますと、心身障害者家庭奉仕員賃金125万円、重度心身障害者医療費に 466万円。国民年金事務費427万円。隣保館費に254万円。

ホームヘルパー（3人）の賃金 243万円。

老人クラブ助成金 143万円。（前年より27万円増）　敬老会補助金 108万円（1人当り800円）　長寿祝金108万円（80歳以上のおとしより1人 5,000円）

金婚式（結婚後50年目を迎えた夫婦）の記念品代も計上されており、10組のおしどり夫婦に金盃（三つ重）が贈られます。

70歳以上のおとしよりの医療費の無料化による老人医療費が前年より362万円多い3,031万円。中浦「老人憩の家」建築設計委託料に15万円。母子家庭医療費に41万円（21万円増）

町内7カ所の保育所運営費に1億1,113万円（前年にくらべ 1,029万円増額となっています）

児童手当は前年より680万円多い4,085万円計上しています。

衛生費

◎5,610万円（4.1％）
○4,671万円

予防接種医師手当に46万円。成人病、結核検診、寄生虫検査に88万円。胃、婦人ガン検診に110万円。

年2回実施するカ、ハエ退治に 248万円（薬剤を無料で配付する）

消毒用器車上型高速高圧滅器購入に29万円

産前産後のお母さんと生後4カ月からの赤ちゃんに9カ月間母子栄養食品（牛乳）を無料で配達するのに282万円。助産所費に902万円。

環境保全対策として水質調査、農薬危害防止対策事業をひきつづいて実施する費用に222万円計上しています。

零歳児の医療無料化による費用 127万円。

八西衛生事務組合負担金 596万円。

大成排水路整備工事に 379万円（延長70メートル整備されます）

労働費

◎1,208万円（0.9％）
○1,075万円

前年より 133万円多い 1,208万円で失業対策事業に必要な賃金、給与、手当、原材料費が主なものです。

失業対策事業従事者は現在14人で平均年齢は64歳と高齢化が進んでいます。

自然を生かした町づくり

農林水産業費

◎3億3,801万円（24.6％）
○1億0,238万円

使われるお金のトップはこの農林水産業費です。主なものを拾ってみますと、近代化、災害、農林漁業資金等の利子補給に2,158万円。

仁田之浜畑地帯総合整備事業2,786万円（農道を2,700メートル舗装します）灘・中之浜）樹園地農道網整備事業 6,085万円（中之浜大成農道の改良工事が主なもので約1,000メートル改良します）↗

議会費

◎2,930万円（2.1％）
○2,592万円

前年より約 340万円多く、18人の議員さんの報酬や手当に2,104万円。

議員さんの旅費52万円。その他議長交際費や議会事務局職員の給与や手当がおもなものですが、議員、職員共済費（118万円）も計上されています。

総務費

◎1億6,841万円（12.3％）
○1億6,236万円

この総務費は使われるお金の第4位にあたります。この総務費は職員の給与、手当が大きなウェートをしめているほか、生活環境整備に 100万円。交通安全対策に65万円。大成、奥、豊之浦の集会所設計委託料に 102万円。

原子力発電所対策 187万円、このなかには県からの委託事業として環境放射能調査20万円が計上されています。

印鑑事務改善に 108万円

衆議院議員選挙費に 180万円。

区長さんの報酬がアップされ 138万円に、このほか区長研修等が計上されています。

統計関係では本年度実施される果樹基本統計調査、全国物価統計調査、商業統計調査、工業統計調査、学校基本統計調査、工業実態基本統計調査の統計費用 118万円。

広報「伊方町」編集費もこの総務費に計上されています。

お酒の品評会

地元酒が優等一位

原酒の品定めに真剣な表情の杜氏さんたち（きき酒会）

西宇和郡杜氏組合（田中善吉組合長）主催の第二十六回自醸酒品評会が四月二十六日～二十八日までの三日間中央公民館で開催されました。

ことしで二十六回にあたるこの品評会は、毎年蔵一番のできのよい原酒を持ち帰り、日本酒特有の「味」「コク」「香り」を競うものです。

審査は高松国税局鑑定官室百瀬洋夫氏以下四人が審査にあたり、その結果、地元酒で"神野亀継氏（伊方越）の自醸酒"、宮乃舞"が晴れの優等一位に輝き優勝旗を獲得しました。

また、上位三点のほか優等酒として四十二点が選ばれました。

審査方法は、すべて番号で処理され、出品された酒銘は明らかにせず、一点一点「ききしょく」にそそがれ審査に当るものです。

品評会終了後、原酒の品定めのきき酒会も開かれました。

審査員が出題した十種、二組の酒をききわける恒例のもので、ベテラン杜氏さんは、きき酒用コップに入った原酒を口にふくんではき出し、慎重に味、コク、香りを吟味しカードに記入していました。

品評会及びきき酒成績はつぎのとおりです。

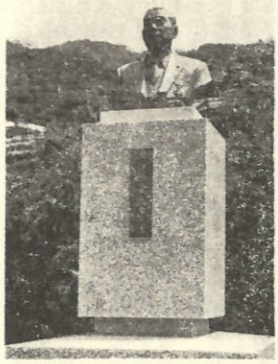
成績　酒銘　杜氏氏名
優等一位　宮乃舞　神野　亀継
〃二位　国の華　窪田　一郎
〃三位　花の正宗　根来　昌則

きき酒コンクール入賞者

一位　袋口　清政（大浜）
二位　大村　昭男（保内町）
三位　泉　信吉（大浜）
四位　菊池　芳勝（川永田）
五位　神野　亀継（亀浦）

本町の"伊方杜氏"は古い伝統と優秀な技術をもち、県下にその名声を誇っており、ことしは百六十七点（昨年度百七十点）が出品されました。

川口満義翁の鋳像を建立



川口満義翁像

元県議会議員（連続五期）川口満義翁の鋳像が新国道バイパス沿いの要所（河内）に建立されました。この鋳像は川口満義翁鋳像建設委員会（委員長山本長松町長）が翁の功徳を後世にたたえるため建立したものです。

像は翁の上半身の等身大ものです。鋳像正面の「川口満義先生の像」の書は田中角栄前内閣総理大臣の筆。撰文は愛媛新聞社会長、南海放送社長平田陽一郎氏がこれにあたられました。

五月三日（憲法記念日）除幕式を現地で行う一方、鋳像建立記念及び生存者叙勲（勲四等瑞宝章）祝賀式が伊方中学校体育館で町内はもとより、町外、県外の知名人約五百人が出席して盛大に行われました。

川口満義翁の叙勲（五十年秋の叙勲）の記事については、本紙第一七四号（五十年十二月号）の一面で紹介しています。

青年団協議会役員きまる

会長　兵頭　照正（有寿来）
副会長　政木　吉久（湊浦）
〃　小池　花子（川永田）
〃　大沼　正一（有寿来）
事務局長　堀内　久勇（向）
体育部長　大林　茂樹（西）
情宣部長　道政（大浜）
文化部長　矢野
産業部長　井上　満（湊浦）
研修部長　清水　末昭（小中浦）
女子部長　山本　和美（大浜）
監事　畑中　覚夫（川永田）
〃　大橋　伴久（東）

こんど一年間、青年団活動推進のため種々ご活躍いただきます。

お世話さまです 区長さん

町と部落のパイプ役でご活躍

ことし町行政と部落自治の間に立ってパイプ役としてご活躍くださる区長さんの顔ぶれがそろいましたので紹介します。

1年間いろいろとお世話をいただきます。

部落名	氏名	世帯	人口
大浜	吉谷　利一	164戸	737人
中之浜	中田　丈継	81	329
仁田之浜	米沢　弥生	127	490
河内	山口　行高	132	451
湊浦	梶田　広明	304	1,003
湊浦二	小林　一男	26	97
小中浦	大通　孝行	71	289
伊方越	崎田冨士弥	48	175
亀浦	山口　寿男	51	200
中浦	足利　保	97	381
川永田	◎阿部　嘉明	196	727
川永田二	川口　照雄	78	220
豊之浦	中川　孝平	218	905
奥	渡辺　浅親	89	281
向	堀内　一長	129	371
畑	得能　作彦	106	323
須賀	田口　忠義	94	356
久保	菊池　文史	64	225
西	根来　昌則	72	253
二見	山田　孝志	60	183
加周	笹田　長司	65	197
田之浦	山岡　明敏	97	322
古屋敷	津田　藤一	47	157
大成	○古田　好彦	57	194
鳥津	竹上　耕一	55	179
	（敬称略）		
	計	2,528戸	9,045人

（S51. 3.31日現在住民基本台帳による）

◎は区長会会長　○は区長会副会長

河内公園が完成

伊方の〝顔〟です 美しく

河内公園が完成しました。

この河内公園は、国道バイパス線保内・河内間が完通したことにより、その国道沿の町有地に造成したものです。

昭和四十九年度に公園造整備に約百五十万円、昭和五十年度事業二百五万円、総工事費三百五十五万円で電源立地促進対策交付金（二百万円）事業でできあがりました。

公園内には、便所、休憩ベンチを設けているほか、玉ツゲ、唐シュロ、ツツジ、サツキ、ソテツ、カナリーヤシ、サザンカ、サルスベリ、ツバキ、芝生等が植え込まれ、面積九百五十一平方メートルとミニ公園ではありますが、それなりに美しく整備されています。

これからはドライバーの休憩、町民の憩いの場所として利用されます。

どうした公園施設はみんなが利用する場所です。植木を抜いたり、枝をおったりしないよう大切に育ててください。また公園内にゴミなど捨てないようにしましょう。

この河内公園は、伊方町の玄関にあるわけです。

清潔で楽しい公園が伊方町の〝顔〟でもあります。

清潔な公園は気持のよいものです。みんなで大切にしましょう。

中学校卒業生の動向

進学が88パーセント

ことし町内の二つの中学校を巣立った生徒の数は百八十二人ですが、その進路の状況を調査してみました。（下表のとおり）

この表をみてもわかりますように二十一人（昭和四十四年度卒業生に、進学が百六十一人で約八十八％をしめています。

この数字を昭和四十四年度卒業生（昭和四十五年三月卒業）の動向と比較してみますと、その当時の進学率は五十五％で、「金の卵」「青田刈り」といった就職がまだまだ多い時代でしたが、最近は十人のうち九人近くは進学という本町でも全国的な傾向をしめしており教育熱心な家庭が多くなったことがうかがえます。

学校別では伊方中学校が九十％、町見中学校八十七％。男女別では男子が八十八％、女子が八十九％となっており、女子の方が男子を半歩リードしています。

就職についてみてみますと、進学の伸びに伴ない、大幅に減少しています。人生航路はこれからです。

これからは自分の選んだそれぞれの道にむかって、いよいよスタートをきったわけです。

希望に胸ふくらませ、勉学に各職場での仕事にと、健康に充分気をつけてしっかりがんばってください。みなさんの未来は洋々としています。人生航路はこれからです。

進学・就職別		伊方中学校 男	伊方中学校 女	町見中学校 男	町見中学校 女	計 男	計 女	備考
進学	八幡浜高校	16人	10人	13人	10人	29人	20人	進学率
	八幡浜工業高校	8		6		14		伊方中89.5％
	川之石高校	15	40	10	15	25	55	町見中86.8％
	その他の高校	9	4	5		14	4	男子　88.2％
	計	48	54	34	25	82	79	女子　88.8％
就職	県内	3	1	4	3	7	4	全体　88.5％
	県外	4	4		2	4	6	県内　40％
	計	7	5	4	5	11	10	県外　60％
合計		55	59	38	30	93	89	

新入学児童の交通安全

四月からいよいよ新入学児童の通学がはじまりました。

いままで通っていた保育所とちがって行動範囲も広くなり、通学する方法もちがいます。

生命の危険を伴なうことはきびしい指導が必要であり、痛ましい交通事故を起こさないためにも、つぎのことがらをよく守っていただき、自分の命は自分で守る子どもに育てたいものです。

「飛び出し」をしない

子どもの交通事故のほとんどが、車の直前直後の横断と飛び出しです。車は急に止まれないことをくり返しよく教え、安全を確認し、絶対に道路へは飛び出さないように指導してください。

良い習慣づくり

子どもは大人のように臨機応変に考えたり、行動したりすることができません。

そのためには日常生活の中で、道路の歩きかた、横断の方法など親が正しい手本を示し、指導することが大切です。

登下校時の注意

危険な場所の注意や、気がついたことを話し合い、安全な通学ができるようにしてください。

集団登校などでは、世話になる上級生たちの人間関係をよく指導し、わがままが通用しないことも自覚させることが大切です。

献血にご協力を

こどもも献血がまいります。

あなたの血液を重い病気やケガなどで苦しむ人たちの貴重な生命をすくうために役立ててください。

献血することによって優先的に血液がもらえます。

一人でも多く献血にご協力をお願いします。また献血の際には、献血手帳をご持参ください。

五月二十六日（水）午前十時から　場所＝中央公民館

ワン公の買い上げ日

不用なワン公を買上げます。

一匹五百円です。

保健所の回収車が五月二十一日にまいりますので、その二、三日前に役場まで、町見支所の場合は二十一日の午前中につれてきてください。六月の回収日は十八日の予定です。

人権コーナー

五月五日は「子どもの日」

子どもの人権を守りましょう。

子どもは次の世代を担う国民として健全に育てられなければなりません。

子どもの人権を尊重し、明るい家庭を築きましょう。

人権問題で悩んでおられる方はいませんか。

木町の人権擁護委員さんはつぎの方々です。お気軽に相談してください。

小川文一郎氏（港浦）
電話八一〇六〇七番

山口　勇氏（二見）
電話九一〇九二八番

伊方の若人

①職　業　②趣　味
③好みの異性タイプ
④伊方町をどう思いますか
⑤町づくりに対する希望

得能　正さん

畑　20歳

①町見農協に勤務しています。
②レコード鑑賞と自動車に乗ることです。
③積極的で、いつも笑顔をたやさないユーモアのある人。
④住みやすい町だと思います。
⑤近所、部落どうしの人たちの交流が気楽にできるような町にしてほしい。また、そう努力すべきだと思います。

竹内松子さん

豊之浦　21歳

①伊方町農協金融課に勤務しています。
②手芸をするのが、大好きです。
③やさしくて、たよりがいのある人。物ごとに真剣に取り組む人。
④周囲の人に恵まれて、とても住みよい明るい町だと思います。
⑤良い面はいつまでも、そのままで／より今まで以上に住みよい明るい町になってほしい。

健康メモ

牛乳のガブ飲みはいけません

牛乳は、脂肪、たんぱく質、糖質で、バランスのとれた栄養食品です。

この栄養を十分に吸収するため牛乳は少しづつ飲みましょう。

牛乳をガブ飲みする人がありますが、牛乳のたんぱく質が、胃の中で大きな塊に凝固して、消化吸収されにくくなります。

牛乳は「よくかんで飲め」という言葉がありますが、少しづつ飲めば、唾液とよく混じるので、十分に消化吸収されます。

また、牛乳は、砂糖を入れずに飲みましょう。牛乳はアルカリ性の食品です。これに酸性の強い砂糖を入れて、せっかくのアルカリ性を減らすのは、惜しいことです。

牛乳は、そのまま飲む習慣をつけましょう。

また、牛乳は冷蔵庫で保存する場合は、製造日から四～五日が限度です。

人

昭和51年3月末現在
世帯数 2,528戸（+29戸）

人口 9,045人（+35人）｛男4,310人（+22人）｝｛女4,735人（+13人）｝

お礼

大阪市西区京町三二五に住いの中川博夫氏（大浜出身）より一万円。

松山市古三津町二七八二の二にお住いで給油所を経営されている富貴安男氏（川永田出身）より五千円。

八幡浜市新和田町三にお住いの岩見ふさえさん（旧姓三好＝瀬浦出身）より三千円。

それぞれ広報編集費用にとご寄付いただきました。紙上より厚くお礼申し上げますとともにご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

えんむすび

昭和51年3月1日
3月31日

お誕生おめでとう

昭和51年3月1日
3月31日

おくやみ

昭和51年3月1日
3月31日

こちら編集室

五月号ができあがりましたのでお届けします。

今月号は、三月定例町議会報告と昭和五十一年度町の台所予算を主体に紹介しています。

一般会計が十三億七千万円、全会計で約十七億七千万円でスタートしました。

きびしい財政状況の中で健全堅持の運営をはかりつつ、町民の安らぎを求めて、谷間のない明るい町づくりをめざします。（Y・O）